



東希小だより 7月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

異学年交流の取組

校長 井島 恵子

例年より梅雨入りが遅れたことで、6月中にどの学年も水泳学習を実施することができました。安全な水泳学習実施のために保護者の皆様から様々なご協力をいただき感謝申し上げます。また6月15日に行われた土曜参観にも多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。来週から行われる個人面談とあわせて、お子様の様子を共有し成長のために手を携えてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校では長年、異学年交流を行っており、その代表的なものが「なかよし班活動」です。

なかよし班活動とは？

活動のねらい：異学年の友だちと一緒に活動することで、お互いに思いやりの気持ちを持ち、協力し、親切にする心や主体的に行動する態度を育てます。

班編制：全校児童を1組「太陽」2組「マーガレット」3組「富士山」の3ブロックに分け、さらに各ブロックを1～6年生全学年が入るよう6つの班に分け6年生のリーダーを1人おきます。その班をさらにAとB 2つのグループに分けています。従って班名は(例)太陽1班Aグループのようになります。*2年生は2学級しかないなので、それぞれの学級内で「太陽」「マーガレット」「富士山」に分かれます。

活動内容：班単位での主な活動は次の2つです。毎月それぞれ1回活動があります。

- ① なかよし昼休み～月ごとに校庭、教室、体育館と場所を変え、仲間が楽しんだり仲良くなったりできるように、6年生を中心に遊びを考えて遊びます。
- ② なかよし掃除～高学年が掃除のしかたの手本となって、気持ちのよい環境で過ごせるようみんなで学校をきれいにしています。

そのほかの異学年交流

- ① ペア学年での朝の集会
- ② 委員会・クラブ活動
- ③ 体力テストでのペア学年での一部種目の実施
- ④ 「歌のつどい」での練習の聴き合いと感想交流
- ⑤ 学習の中で、異学年に向けて発表(音読、総合的な学習等)したり、インタビューしたりする
- ⑥ 「スポーツフェスティバル」での低・中・高学年ごとの演技、競技の教え合い など



異学年の子ども同士が交流することで、高学年の児童は寄り添ったり優しく接したりする経験をして自覚が生まれ、低学年の児童は高学年の姿から多くのことを学んで憧れを抱きます。また個別支援学級では、複数の学年でクラスを編成しているので、毎日が異学年交流の生活となっています。これからもこうした教育活動を充実させ、同じ学校で生活する友だちのよさを認め合える子どもの育成に努めてまいります。引き続きご理解ご支援をよろしくお願いいたします。